

かながわこども・子育て支援月間



令和8年度 子ども支援交流会

～みんなでつくる、子ども・若者のみらい～

11月11日(水) 10:15 ～ 12:15

参加費無料

【会場】 横浜情報文化センター 6階ホール（横浜市中区日本大通11番地）

【対象】 こども・子育て支援に携わるor興味のある企業・団体、市町村、学校関係者、
社会福祉協議会 等

今回は、「企業や団体と一緒に考える地域の子ども・若者支援の取組」をテーマに
様々な分野の取組事例の紹介と、子ども・若者支援の横展開を図るための交流会
を行います。企業や団体等と「つながる」きっかけを作いませんか。



【プログラム】取組事例の紹介(50分程度)・交流会(60分程度)

○田園調布学園大学 教授 引馬 知子 氏

社会政策や国際福祉を専門とし、多様な人々のソーシャル・インクルージョンや共生に関心をもっています。
ワークライフバランスの実現や障がいのある人の意思決定支援にも取り組んでいます。当日は学術研究の紹介及び
ファシリテーターを務めます。

○江ノ島電鉄株式会社 経営管理部(経営戦略担当) 兼

コンテンツ事業本部 コンテンツ開発部 課長 西口 耕平 氏

子どもの体験格差に向き合い、「夏休み江の島こどもラボ」で多彩な学びや体験の場を提供しています。
また、「えののでん・えほんプロジェクト」では、絵本の読み聞かせ等を通じ、親子の交流や子育てを支える取組を行っています。

○Eriii's Café 代表 小林 貴大 氏

川崎市宮前区で障がい児・者の日中一時支援や相談支援を行うとともに、子ども食堂やコーヒー販売を運営しています。
また、地域の様々な企業・団体等と連携し、障がいの有無や年齢にかかわらず、地域の人々が出会い、交流できる居場所
づくりに取り組んでいます。

○味の素株式会社 グローバルコミュニケーション部 企画管理G

西尾 祐美子 氏

味の素グループがフードロス対象商品を地域の提携先に無償提供し、その販売収益で子ども食堂を支援する取組の
「アジパンダ食堂」を行っています。食品ロスを減らし、地域と共に、共食を通じたWell-beingの実現に取り組んでいます。

○川崎市立稗原小学校 校長 菅原 隆宏 氏

「認め合い 助け合う子」などを教育目標に掲げ、算数名人や稗原太鼓など、地域に根ざした教育活動を進めています。
地域の支援団体と校庭や体育館で開催される行事を通じて連携し、地域の交流を支えています。

【申込方法】

電子申請システムでお申込みください。

<申込期限>

令和8年11月5日(木)17時(先着40名)



お申込みは

こちら 

(二次元コードの読み込み
またはクリックしてください)



※定員を超えた場合、人数調整をさせていただく場合があります。連絡がない場合はご参加いただけます。
※会場の都合上、公共交通機関をご利用ください。

問合せ先 神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課

TEL 045-210-4666(直通)

